



# AMP FARM 4.0

パイロット・ガイド ▶

Line 6 Amp Farmプラグインの特徴と機能についてのガイド

# 内容

<b>はじめに</b>	<b>3</b>	<b>モデルの詳細 – モデルとなったのはどのアンプか?</b>	<b>8</b>
Amp Farmバージョン4は何か新しいんですか?	3	1959 Fender Bassman	8
Amp Farmの特徴	3	1964 Fender "Blackface" Deluxe	8
システムの必要条件と互換性	3	1967 Fender "Blackface" Twin	8
テクニカルサポート	4	1960 Vox AC30	8
Line 6について	4	1966 Vox AC30 with Top Boost	9
<b>インストールと認証</b>	<b>4</b>	1965 Marshall JTM45	9
Amp Farmソフトウェアをインストールする	4	1968 Marshall Plexi	9
Amp Farmソフトウェアを認証する	4	1986 Marshall JCM800	9
Amp Farmソフトウェアを削除する	5	1995 Mesa/Boogie "Recto" Head	9
<b>Amp Farmを使用する</b>	<b>5</b>	1994 Mesa/Boogie Trem-O-Verb	10
ハードウェアの推奨セットアップ	5	1989 Soldano SLO Head	10
マウスコントロールの基本	5	1987 Soldano X-88R Preamp	10
Amp Farmのコントロール	6	1996 Matchless Chieftain	10
Amp Farmファクトリープリセット	7		
トラックのセットアップ	7		
ミックスする	7		

© 2019 Yamaha Guitar Group, Inc. 無断複製禁止。

注記: Line 6, Line 6ロゴ, Amp Farm, Echo Farm, Helix, POD, Variaxは米国及び他の国々で登録されたYamaha Guitar Group, Inc.の商標です。Avid及びPro ToolsはAvid Technology, Inc.の登録商標です。MacとmacOSは米国及び他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。WindowsはMicrosoft Corpの登録商標です。Cubase及びVSTはSteinberg Media Technologies GmbHの登録商標です。

## はじめに

Line 6 Amp Farm® 4.0は、macOS®及びWindows®DAWホストアプリケーションに対応し、AU、VST®とAAXフォーマットで使用可能な64ビットのプラグインです。Amp Farmは最大192kHzのサンプルレートとモノ&ステレオチャンネルフォーマットをサポートします。

1998年5月の発売以来、Amp Farmは（ハードウェアの姉妹品であるPOD®アンプ・モデリング・プロセッサと共に）ギターレコーディング業界における革命を先導しています。Amp Farmは、世界中で多くのトップAvid® Pro Tools®デジタルオーディオワークステーション（DAW）ユーザーの間で信頼のおけるギターレコーディングツールとしての地位を急速に確立し、プラチナアルバム、巨額の制作費が投じられる映画のサウンドトラックやプレミアTV番組の音楽制作、そして様々な形やサイズのレコーディングプロジェクトに欠かさない存在になっています。Amp Farmバージョン4.0のリリースにより、全ての一般的なDAWソフトウェアのユーザーが、この歴史的なギターアンプ・モデルソースを利用できるようになりました！



Line 6 Amp Farmプラグイン

## Amp Farmバージョン4は何が新しいんですか？

Amp Farmは、本来Pro Tools TDM Pro Toolsプラグインとして考えられていたため、Pro Toolsのユーザーだけが利用可能であり、それを機能させるためにはDSP処理ハードウェアの追加が必要でした。4.0はCubase® 9やPro Tools® 11のソフトウェア、等の正規のAU、VST、AAXプラグインDAWホストアプリケーションに互換性を提供します。その前作でもあるバージョンと全く同じパッチフォーマットを扱い、同じ機能とユーザーインターフェースを備えていますが、従来通りホストプロセッサ上で処理を行います。

前作のAmp Farmプラグインと同様に、Pro Toolsユーザーに向けて優れたディレイとエフェクトモデルが利用できる上、記録した以前のセッションとプリセットのサウンドと機能も期待を決して裏切りません。（Amp Farm 4.0プリセットは、以前のAmp Farmバージョンに対応していないため、注意してください。）

## Amp Farmの特徴

Amp Farmには以下の機能が含まれています：

- ギタリストであれば誰もが理解できるシンプルなおアンプ・スタイルのコントロールにより、12種類以上のアンプ・モデルが、世界的に有名なギターコンボとヘッドのトーンとフィールを忠実に再現します。
- 小型2インチから大型のビンテージ4x12スピーカーキャビネットまで、何十種類もの多様なキャブ・モデルは、簡単操作でミックス、そしてどのようなアンプ・モデルにもマッチさせることができます。
- 選択可能なマイクモデルが、クラシックなキャビネットのマイク技術を捉え、DAWソフトウェア上でダイナミック、そして豊かなライブサウンドを提供します。
- ギター入力信号の処理や、録音済みのトラックの調整から最終段階のミックスまでの処理能力。
- チューブの暖かみ、ダイナミックなディストーションやスピーカー・キャビネットの活力をいかなるオーディオトラックにも加えます。
- まるでギターアンプを使うかのように、Line 6 Echo Farm™プラグインと共に、または他全ての楽器とオーディオトラック用のプロセッサとして使用することができます。

## システムの必要条件と互換性

Amp Farmを使用するにあたっては、以下が必要です：

- AAX、AU、VST3、VST2プラグイン・フォーマットに対応する64ビットデジタルオーディオワークステーション・ホストアプリ
- iLokライセンス管理のためのiLok.comアカウント
- iLok USBスマートキー（バージョン2または3）（別売り）

互換性に関する最新情報は<https://line6.com/>へアクセスしてください。

## テクニカル・サポート

サポートに関するお問い合わせは<https://line6.com/support/>にアクセスしてご覧ください。

## Line 6について

Line 6はギタリストのためにモデリング技術を発展させる世界的リーダーです。世界最大のギターアンプメーカーの1つであることに加えて、我々はVariax® デジタル・モデリング・エレキギターや、絶賛されたHelix®及びPOD®ギター・ワークステーション・ハードウェア、世界で最も低いレイテンシを誇るデジタル・ワイヤレス・システム等、様々な機器を製作しています！ 当社製品については<https://line6.com>をご覧ください。

## インストールと認証

Amp Farmプラグイン用のインストーラーは、Line 6ウェブサイトのソフトウェア・ダウンロードページからダウンロードが可能です (<https://line6.com/software/>)。インストーラーをシステムの任意の場所にダウンロードします。

## Amp Farmソフトウェアをインストールする

Amp Farmソフトウェアのインストールを始める前に、DAWホストとその他のマルチメディアアプリケーションを終了してください。

Pro Toolsを使用する場合は、前もってPro Toolsアプリケーションをインストールして、必ず1度は起動させておいてください。

### Mac:

- Mac用のAmp Farmプラグインインストーラーをダウンロードし、そのインストーラーが解凍されていることを確認してください(.dmg)。
- Amp Farmプラグイン・インストーラーを選んでダブルクリックします。インストール中にCustomizeボタンをクリックし、インストールしたいフォーマットのみを選択します(AU、AAX、VST3またはVST2\*)。
- 画面上の手順に従ってインストールを完了させます。

### Windows:

- Windows用のインストーラーをダウンロードし、そのインストーラーが解凍されていることを確認してください(.ZIP)。
- Amp Farmプラグイン・インストーラーを選んでダブルクリックします。インストールをカスタマイズして使用したいフォーマットのみ選択します(AAX、VST3またはVST2\*)。

- 画面上の手順に従ってインストールを完了させます。



\*注意: お手持ちのDAWアプリケーションがVST3をサポートしている場合、古いVST2フォーマットと一緒にインストールしないことをお勧めします (VST2はデフォルトでは選択されません)。VST2フォーマットは、VST3プラグインをサポートしないホストDAWアプリケーションを持つユーザーに提供されます。

## Amp Farmソフトウェアを認証する

Amp Farmプラグインのライセンス認証は、PACE Anti-Piracy社製の iLok USBスマートキー (iLok) を使用して行います。iLokはそれぞれ、iLok-利用可能なソフトウェアであれば数百ものライセンスを全て認証することができます。ソフトウェアのライセンスがあらかじめ iLokに登録してあれば、そのiLokを使うことでどのコンピュータへでもソフトウェアのライセンスを認証させることができます。

### Line 6から購入する:

Amp FarmプラグインのライセンスをLine 6ストア(<http://shop.line6.com/>)で購入された後、ご自身のLine 6アカウント (<https://line6.com/account/licenses/ilok/>) 内の iLok Depositsエリアから「Deposit」ボタンをクリックすることで、ソフトウェアの認証ライセンスがiLok.comアカウントへ預託されます。

### Avidから購入する:

Amp FarmプラグインのライセンスをAvidストアまたはAvid Marketplace (<https://shop.avid.com/>) から購入すると、直ちにご自身のソフトウェアの iLok認証ライセンスがiLokアカウントへ預託されます。

### Amp Farmライセンスを iLokへダウンロードする方法:

- iLokアカウントをまだお持ちではない場合、<https://www.ilok.com/>へアクセスし、アカウントを作成してください。
- ilok.comから iLokアカウントへログインします。
- 画面上の手順に従って、ライセンスをあなたのiLokアカウントから iLok USBスマートキーに移します。



注意: iLok License Managerソフトウェアを使用することで、認証ライセンスをお手持ちのiLokスマートキーまたはコンピュータ・システムへ移動させること可能です。iLok License Managerに関する詳細は、[ilok.com](http://ilok.com)にアクセスしてご覧ください。

## Amp Farmソフトウェアを削除する

システムからAmp Farmソフトウェアを削除する必要がある場合は、以下の手順に従って下さい。

### Mac:

以下のディレクトリからAmp Farmファイルを削除します:

- **AAX:** /ライブラリー/アプリケーション・サポート/Avid/オーディオ/プラグイン/Line 6
- **AU:** /ライブラリー/オーディオ/プラグイン/コンポーネント/
- **VST2:** /ライブラリー/オーディオ/プラグイン/VST/Line 6
- **VST3:** /ライブラリー/オーディオ/プラグイン/VST3/Line 6

### Windows:

- スタート>コントロールパネル (または Windows 10の設定)を選びます。
- プログラムと機能 (またはWindows 10のシステム、続いてアプリケーション&機能)をクリックします。
- インストールしたアプリケーションのリストからAmp Farmプラグインを選びます。
- 「アンインストール」をクリックし、画面上の手順に従って Amp Farmプラグインを削除します(これにより全てのプラグインフォーマットが削除されます)。

## Amp Farmを使用する

これで Amp Farmの準備は完了です。次の数ページを通じて様々な Amp Farm コントロールとそれらの機能をご紹介します。

### ハードウェアの推奨セットアップ

Amp Farmプラグインに送られる入力信号のレベル強度が、ゲイン全体とトーンのサチュレーションに影響を与えるため、ゲインステージで調整することが不可欠です。大部分のAmp Farmモデルは、直接エレキギターを我々がモデル化した実際のアンプにつなぐかのように「インストルメント」レベルの入力信号を受診するように設計されています。以下に最適な信号レベルを得るためのヒントをいくつか記載します。

- 「ドライ」なエレキギター (またはベース) を録音するための最適な方法は、「Hi-Z」または「Instrument」入力のオーディオ・インターフェースを直接プラグインすることです (少なくとも300kΩインピーダンスの1MΩが理想です)。
- 入力信号レベル (またはトラック内のクリップの再生レベル) をモニタリングする場合は、差し込まれているAmp Farm上のDAWソフトウェアのトラックのレベル・メーターを参考としてください。入力レベルは-36dB~-12dBの範囲内に調節します。
- オーディオ・インターフェースで入力レベルの調整が可能な場合は、録音レベルが最も適した範囲内でプラグインに送られるように調節することが大切です。必要な場合は、プラグインの**Input**ノブを調節し、レベルを微調整することが可能ですが、このノブを中央の「デフォルト」位置から動かして調節したことで、信号の品質が期待外れとなる場合もあります。
- アクティブ・ピックアップが備わったギターの場合、従来のパッシブ・ピックアップよりもノイズの少ない厚めの出力が得られます。お手持ちのギターがアクティブまたは特に出力の高いピックアップの場合は、オーディオインターフェースをセットするか、可能な場合はプリアンプの入力「パッド」をオンに入れます。
- Amp Farmの前に、手持ちのストンプボックスまたはプリアンプへギター信号を通じたいとお考えですか? 問題ありません。前述のレベルの設定に関する注意事項を確認してみてください。DAWトラック内でAmp Farm (再度、ゲインステージには注意が必要です)の前、後に、他のプラグインを挿入してトーンを更に磨きをかけることも可能です。

### マウスコントロールの基本

Amp Farmプラグインのノブのコントロールは全て、マウスを真っすぐ左から右へ、または上から下へ動かすことで調節できるようになっています。パラメーターの値を下げるときは、そのノブをクリックして左へドラッグするか、下へドラッグします。右や上へドラッグすると、その値は増加します。マウスを回転させるような動作でノブをクリックしたりドラッグすることは避けてください。



**ヒント:** ほぼ全てのノブ・コントロールは、そのノブを直接ダブルクリックすることでリセットして初期設定値に戻すことができます。

Amp Farmボタンは通常、一回のクリック操作で設定できるようになっています。ボタンを一回クリックすることでパラメータはその逆の状態に入り、再度クリックすることで元の状態に戻ります。

## Amp Farmのコントロール



Amp Farmプラグインウインドウ (Pro Tools)

1. **Inputノブ** - InputノブでAmp Farmへ送る信号レベルを調節します (5ページ、「ハードウェアの推奨セットアップ」)のヒントを参照)。通常、このコントロールは中央(ユニティ・ゲイン)の位置へ設定しておきます。理想的とは言えない状況、または入るギター信号や録音済みのギタートラックを最適にする方法がないといった場合、ここでその状況を改善することができます。
2. **Master Volume - Master Volumeノブ**でAmp Farmの最終的な出力レベルを設定します。ノブで思い通りの出力レベルになるまで調節し、プラグイン、センド、または信号バスへ送られるAUX/バス・トラックへの過負荷を避けるように注意してください。
3. **アンプモデル・メニュー** - この画面のメニューからAmp Farmで使用したいアンプモデルを選択します。
4. **キャブとマイクモデル・メニュー** - Cabメニューをアンプモデル・メニューと同じように使用して 現在のアンプモデルに組み合わせるスピーカー・キャビネット・シミュレーションを選択します。リストの前半には我々の第3世

代のキャブモデルが含まれており、追加するマイクをMicモデル・メニューから選択し、最もリアルでダイナミックなライブトーンを再現することができます。リストの後半には、固定のマイクモデルを始め、前のAmp Farmバージョン(第2世代)に含まれていたキャブモデルが記載されており、使用することでそれらすべてが独特の雰囲気を出します(これらのキャブモデルのどれかが使用されている場合、Micメニューから選択することはできません)。



**注意:** Amp Farmと共に他社製のIRプラグインを挿入してスピーカーのシミュレーションを行う場合は、これらのメニューで「None」を選択し、Amp Farm内のキャブ/マイクモデルをオフに設定することができます。

5. **Noise Gate** - Noise Gateは、検出した入力信号のスレッシュホールド以下の音声信号を減衰させ、ノイズフロアをコントロールするために内蔵されています。THR (スレッシュホールド) ノブを使用して、カットさせたいゲートの位置を設定します。0に設定すると、ゲートの機能がオフになります。RLS (リリース) ノブを設定して、信号がスレッシュホールドを超えた時にゲートをリリースするまでの時間を設定します。設定値が低すぎると、ゲートのリリースが速すぎて、プツツと音が途切れてしまう現象が起こる場合があります(このエフェクトが欲しい場合は別ですが)。
6. **Driveノブ** - アンプモデルそれぞれにDriveノブが含まれています。これが通常のVolumeノブとして機能し、選択したアンプモデルをどのくらいの強さでドライブさせるかをコントロールします。設定が高ければ高いほど「土臭さ」が増す、マスターではない、ボリュームアンプ上の入力・ボリューム・コントロールだと思ってください。
7. **その他のアンプノブ&スイッチ** - 画面上に表示されるその他のノブとスイッチは、特定のアンプモデルに用意されており、そのモデルをベースとした実際のアンプ上のコントロールをエミュレートするためにセットアップされています。レギュラーとハイゲイン・チャンネルを持つアンプ用に、その2つを切り替えるためのトグルスイッチを用意しました。アンプモデルの中には、トグルスイッチでトレモ回路のオンオフを切り替えるものもあります。加えて、Plexi Lead 100等のいくつかのアンプモデルには、入力にエクストラゲインを加えるために、レギュラーとハイゲイン・チャンネルを合わせたエフェクトをかけられるようにExtra Gainトグルが用意されています。一般的に、ノブとスイッチは我々がモデルとした元のアンプを可能な限り効果的にエミュレートするため、実物と同じようなラベルをノブ、スイッチ、端

子に配置しています。詳細は8ページ、「[モデルの詳細 - モデルとなったのはどのアンプか?](#)」をご覧ください。

8. **DAWホスト・プラグイン・コントロール** - これらのトップパネルのオプションは、エフェクト・プラグインのためにホストアプリケーションにより用意されたものであり、プリセットの選択、バイパス、A/B「比較」機能、オートメーション・オプション等があります。詳細はDAWホストアプリケーションの説明書を参照してください。

## Amp Farmファクトリー・プリセット

Amp Farmプラグインにはいくつかのファクトリープリセットが搭載されており、すぐに使用することができます。これらのプリセットはどれでも、ホストのプラグイン・ウィンドウのトップパネルの中にある、ホストDAWアプリケーションのプリセットメニューから呼び出すことができます。(このメニューの実際の位置とメニューのナビゲーションはホストのDAWアプリによって異なりますが、通常はPro Toolsプラグイン・コントロールの中に表示されます。上記のアイテム#8参照)。

他のプラグインと同様に、ホストDAWアプリケーションには、Amp Farm用にカスタムした自身のプリセットを保存することができる保存オプションが用意されています。プラグインの全ての能力については、ホストアプリケーション自身の基準に従うため、詳細に関してはお手持ちのホストの取扱説明書を参照してください。

## トラックのセットアップ

Amp Farmは、他のエフェクト・プラグインと同様に、トラック内の入力と録音済みオーディオを処理するため、どのようなオーディオトラックでも中に挿入することができます。加えて、Amp FarmはどのようなAUX、グループ、エフェクト、バス、マスタータイプのトラックの中にも挿入しマルチトラックのオーディオ出力を同時に処理することができます(トラックタイプはホストDAWのアプリケーションによって異なるため、お手持ちのソフトウェアの取扱説明書を参照してください)。一般的には、オーディオトラック上にトラックの入力信号としてギター信号と共にAmp Farmを挿入して使います。

プラグインのAmpモデルメニューからアンプモデルを選んでクリックします。Cabモデルのメニューでも同様に選択してスピーカーキャビネットを変更します。リスト前半に記載されているキャブモデルを選択した場合は、Micモデルも選択してください。ノブとスイッチで好みの音質に調節します。録音ボタンを押します。少し演奏してみましょう。停止ボタンを押します。録音したトラックを再生します。ノブを回して調節します。良い感じでしょう?

## ミックスする

Amp Farmをもう一つの、よりパワフルなツールとして、他のツールと組み合わせて使用することをお勧めします。例えば、Amp Farmの前にEQを使えば、基本的には通常のギターアンプの前にEQストンブボックスを使用してトーンに豊かさをかけるのと同じ効果が得られます。Amp Farmを2度、または3度かけたサウンドを試すことをお忘れなく。連続して数回、または平行させることで、マルチアンプを使用したトーンが得られ、優れたスタジオギターサウンドを再現するために多くのアーティストとプロデューサーが使うスタンダードなテクニックのように効果的です。これは、クリアなピッチ効果と豊かでクリーンなトーンと同時にヘビーでオーバードライブさせたアンプをセットアップしたようなサチュレーションを得る最適な方法です。ソフトウェアを使用しないアンプで録音する場合、テープやミックスを作成する前に、EQと他のエフェクトを加えてミックスしたサウンドを調節を試みるはずです。これらのモデルはアンプのエミュレーションのため、Amp Farmトーンには同じ効果が現れます。

また、Cabモデルメニューから「Big Cab」オプションを試すことも忘れないでください。Big Cabは、マイクを使ったスピーカーキャビネットを物理的にモデリングしたのではなく、特別なEQフィルターアルゴリズムを使用して作られたエミュレーションです。これらは、よりスムーズな周波数レスポンスでビッグでガッチリとしたトーンを再現します。Big Cabの後に若干狭いEQバンプとノッチをかけて、自分だけのスピーカートーンに調整してみてください。

## モデルの詳細 - モデルとなったのはどのアンプか?

Amp Farmプラグイン内のサウンドのモデルとなった実際のアンプの詳細を以下に記載します。

### 1959 Fender Bassman

\* 1959「Tweed」Fender® Bassman®をベースにしています。

クラシックなFender Bassman 4x10コンボからロック&ロールの全てが始まりました。元々はベースギター用のアンプ、Bassmanは6弦のギタリストにとってブルースの必需品となりました。ベースアンプとして期待される、厚みのあるボトムエンドを持ちながらも、トップにFenderの弦を鳴らす音が再現されます。ついでながら、Jim Marshallが Ken Branと共に最初のアンプを作成した頃、彼らは初期のBassmanからかなりの影響を受けていました。Amp Farmのためにモデルとした多くのアンプと同様に、Bassmanにはマスターボリュームが付いていませんでした。より高いゲインのセッティングでBassmanが再現するのと同様のトーンを出すためには、近くに立っている人の聴覚にかなり深刻なダメージを与えるくらいの音量を上げる必要がありました。Amp Farmなら、この種のトーンを寝室で、またはスタジオレベルで、更にはヘッドホンを通してでも再現することができます。Amp Farm Tweed B-Man Ampモデルでドライブのセッティングを4または5で試してみてください。知る限りで最高のR&Bを再現できることを保証します。

### 1964 Fender "Blackface" Deluxe

\* 1964「Blackface」Fender Deluxe Reverb®をベースにしています。

多くのブルース、カントリー、「ルーツ」プレーヤーにとってのHoly Grail、「ブラックフェイス」Fender Deluxe Reverbコンボ。モデリングの候補をかなり聞き込んだ末、最後に恐ろしくクールな'64 Deluxeに遭遇しました。多くのプレーヤーから愛されるDeluxeは、7通りの設定での結構良いザラザとしたサウンドも、ギターのボリュームノブを抑えることで、多少クリーンなサウンドに変わります。このアンプモデルのDriveが変わることでトーンコントロールのレスポンスがどのように変わるかに気づくはずです。クリーンなセッティングはクリスプに現れる一方、よりドライブのかかった設定ではハイエンドがメロウになります。これが、Deluxeから得られる典型的な効果であり、ここにしっかりと捉えられています。正しく調節することでこのトーンが終わりまで再現されます。

### 1967 Fender "Blackface" Twin

\* 1967「Blackface」Fender Twin Reverb®をベースにしています。

クラシックなブラックフェイスを持つFender Twin Reverb (この場合は、1967 Twin)は正に使える代物です。ジャズ、カントリープレーヤーから、ガチなロッカーまで大勢が使っています。(あるバンドで2人のギタープレーヤー両方が6 Twinを数本用意して使っていたのを見た覚えがあります。我々は2階のバルコニー席でしたが、後ろまでかなり喧しい音が届いてきました!) Twin にはトーンの自由度があり、自宅では多くの異なる状況で使用することができます。極端にオーバードライブして濁ることは決してありません。ただひたすら喧しくなるだけです。Amp Farmならば、どのボリュームでもTwinのフルレンジを彷彿とさせるサウンドが再現できます。これはクラシックなサーフサウンドのためのアンプです: トレモロを上げて、モニターも上げ、そしてピキニを探してください。

### 1960 Vox AC30

\* 1960 Vox® AC30を基にしています。

Voxアンプは、その特徴をクラスAパワーアンプのユニークな音質に負うところが多く、60年代のイギリスのバンドにとっては標準的なツールでした。QueenのBrian May、Tom Petty's HeartbreakersのMike Campbell、そしてU2のThe EdgeもまたクラシックなAC30を使用して音楽制作にあたっていました。実際、Voxアンプはアンプメーカーの一社がエレクトリックギター用に特別に設計した製品であり、他社は基本的にそのデザインをRCAラジオブックから直接得ていました。Bryan Adamsのレコーディングの際のお気に入りのAC30アンプの一つがこれだと聞いたのは我々にとって正に幸運でした。Lenny Kravitzは偶然にも我々がテストを始める1週間前にこれを использовалиそうです。それが、ロサンゼルスにあるLine 6でレンタル用に貸し出されるビンテージアンプのコレクションの中の1つだったのです。

我々は後にこのアンプを購入し、Amp Farmからインスピレーションを受けたアンプモデルを世に出すためにそのエミュレーションを鳴らし続けました。クラシックなプリティッシュ・サウンドのいくつかを自分で試してみるのにはここが良いスタート地点です。

\*11ページ参照。本書に記載されている各製品名は各社が所有する商標であり、Yamaha Guitar Group及びLine 6との関連や協力関係はありません。ここに記載されている製品名、情報及びイメージは、Line 6のサウンドモデルの開発中に研究した特定の製品を明らかにする事を唯一の目的としています。



## 1966 Vox AC30 with Top Boost

\* 1966 Vox AC30、Top Boostをベースにしています。

60代に音楽が変わり、ギタリスト達は更なる鮮明さと弾くような弦の音を求め始めました。そのため、VoxアンプのメーカーでもあるJennings CompanyはTrebleとBassコントロール(ついでに12AX7ゲインステージ)を加える決心をしました。この追加の回路がTop Boostとして知られるようになったのです。

## 1965 Marshall JTM45

\* 1965 Marshall® JTM45を基にしています。

このアンプモデルはヘッドにブロック体ロゴ(「スクロールした」前Marshallロゴ)と金のプレキシガラス (Plexi) がフロントパネルに付いたJTM45を基にしています。Plexiアンプを伴ったサウンドは60年代後半に現れたものですが、50Wバージョンはこのモデルからインスピレーションを受けたモデルです。JTM45は、よりメロウなトーンから後のMarshallアンプに顕著な、鮮明さや「歯ごたえ」のあるサウンドへと移行した、Marshallの初期の特徴を再現しています。

## 1968 Marshall Plexi

\* 1968 Marshall Plexi Lead 100を基にしています。

Marshall Plexiは世界中の音の玄人の羨望的のです。この頃(1968年)までにMarshallは、Fender 6L6パワーチューブが遺した回路を完全に変更しEL34チューブへと移行し、もう一つの主だったトーンの違いは必須の出力と電源トランスフォーマーの変更に由来するものでした。(我々がこれら全ての研究に多くの時間を費やしたのが、これでお分かりと思います。) これら全てが積み重ねられ、ロックギターに永遠にリンクされるトーンの作成に至っているのです。この時代のアンプにはマスターボリュームコントロールと言ったものは付いていませんでした。そのため、このサウンドを再現するためには「Mark III Super Amp」を最大まで上げなければなりません。隣人からは完全に疎まれますが、Hendrixがこの時代のMarshallを使用していました。そして20年後、Van Halenの最初の2つのレコードがMarshall Plexiによる「brown sound」です。クラシックなサウンドを Plexiから得るためには、入力ボリュームとトーンコントロールを上げてみてください(10へ)。

\* |1ページ参照。本書に記載されている各製品名は各社が所有する商標であり、Yamaha Guitar Group及びLine 6との関連や協力関係はありません。ここに記載されている製品名、情報及びイメージは、Line 6のサウンドモデルの開発中に研究した特定の製品を明らかにする事を唯一の目的としています。

Amp Farmモデルが、我々の基本とする、「オリジナルにそっくりなサウンドを作る」コンセプトに合わせて、かなり同じものに近づけてセットアップされていることがお分かりいただけるはずです。Amp Farmのパネル上でMidとTrebleノブを最大にまで上げ、Bassを9か10時付近へ回し、それら周辺のノブで微調整することで最高のロックトーンが作れます。

## 1986 Marshall JCM800

\* 1986 Marshall JCM800を基にしています。

このアンプモデルをオンにして、Marshallの世界的に最も称賛されたアンプの1つ、JCM800のトーンを作り出してください。新しい時代のロックギタリストのためにゲインとエッジが追加された、このPlexiのアップデートバージョンは、Marshallアンプの特徴を受け継いでいます。その大きな違いの1つは、トーンコントロールがリアアンプチューブの後に位置していることです。我々はこのモデルを開発するにあたって、Master Volume付きの1990 JCM800を研究しました。これがMarshallを有名にしたメタルサウンドです。Marshallアンプをクリーンに演奏する人は多くいませんが、素晴らしいトーンです。このモデルでドライブを低めに設定して試してみてください。もちろん、Driveとテンションを思いっきり上げることも… Marshallからインスピレーションを受けたアンプモデル全てにExtra Gainスイッチが含まれていることに気づいたと思います。このコントロールで「バーチャルパッチコード」を接続し、これらのアンプのNormalとBrightチャンネルをリンクさせることができます。このクラシックなトリックは、これらのMarshallアンプでより多くのゲインを入力に使用するためのものです。このスイッチをExtra Gainの位置に設定すると、パッチコードが右側に表示されます。面白いですよね？

## 1995 Mesa/Boogie “Recto” Head

\* 1995 Mesa/Boogie® Dual Rectifier®ヘッドを基にしています。

このアンプモデルがベースにしたMesa/Boogie RectifierヘッドはRectifierコンボに似た、モダンで「ビッグヘアー」サウンド用のハイゲインのアプローチを取り入れています。初期のMesa/Boogieアンプとは対照的に、Dual Rectifierトーンコントロールにはハイゲインのセッティングの場合には影響が強く現れるため、中域をすくい上げ、低域を増大することができます。

## 1994 Mesa/Boogie Trem-O-Verb

\* 1994 Mesa/Boogie Trem-O-Verbを基にしています。

このアンプモデルを使用してDream TheaterやMetallicaのようなバンドで使用されるタイトなハイゲイン・サウンドが再現できます。Mesa/BoogieはFenderスタイルの回路の付いたアンプにマスターボリュームを加え、ゲインステージを増やすことで70年代後半と80年代前半に名を残しました。Fenderから受け継いだ特徴がありますが、中域により「パンチ」が出ます。Mesa/Boogie Dual Rectifierトーンのコントロールはポストディストーションです。また我々がモデルとした大部分のアンプのトーンセクションと同様に、個々のコントロールはDriveと共に相互に作用します。Driveセッティングを高くして、シアトル・グランジ・サウンド等では中域をすくい上げ、低域を上げることができます。

## 1989 Soldano SLO Head

\* 1989 Soldano SLO 100ヘッドを基にしています。

このサウンドはSoldano SLO (Super Lead Overdrive)ヘッドをモデルとしています。ヘビ皮のカバーが全てを覆っています! 次のアンプモデルのために研究したX88Rプリアンプとは異なり、SLOには Presenceコントロールが含まれており、他にもいくつかの詳細で異なるサウンドになっています。Driveコントロールを一杯まで上げた状態ならば、数日間維持できるかもしれません… 何か食べてきてください。戻って来た時も維持してはるはずです!

## 1987 Soldano X-88R Preamp

\* 1987 Soldano X-88Rプリアンプを基にしています。

Soldanoサウンドが強くオーバードライブされ、またプリアンプ・ディストーションの後EQがかかります。この過飽和なトーンはスラッシュメタルやグランジバンドによく合いますが、Eric Claptonのようなアーティストによってもよく使われています。Van Halenの後期、またはJoe Satrianiのサウンドを再現したいという場合には、このアンプモデルが合います。ハイゲイン・プリアンプ・チューブのディストーションについて話しますか? このアンプモデルを作成するために研究したX88Rは、80年代後半、ロサンジェルススタジオでは大流行でした。

## 1996 Matchless Chieftain

\* 1996 Matchless® Chieftainを基にしています。

このアンプモデルのために研究した1996 Matchless Chieftainは、クラスA設計の非常に高額な手作りのアンプです。元々は、Top Boost Vox AC30のようなサウンドが出るように設計されたMatchlessには実際にVoxサウンドはありません。しかし何か独特なものが備わっています (複雑なEQの仕組みに大いに関係しています)。そのサウンドは一種の「未来的な懐古趣味」です。そのソフトなクリッピングがクラスAアンプの特徴であり、優れたロック&ロールアンプの「ハイファイ」なサウンドに似ています。

© 2019 Yamaha Guitar Group, Inc. 無断複製禁止。

本書に記載されている各製品名は各社が所有する商標であり、Yamaha Guitar Group及びLine 6との関連や協力関係はありません。ここに記載されている製品名、情報及びイメージは、Line 6のサウンドモデルの開発中に研究した特定の製品を明らかにする事を唯一の目的としています。

Fender, Bassman, Deluxe Reverb, Twin ReverbはFender Musical Instrument Corpの登録商標です。

VoxはVox R&D Ltdの登録商標です。

MarshallはMarshall Amplification Plcの登録商標です。

Mesa/Boogie, Boogie, RectifierはMesa/Boogie Ltdの登録商標です。

MatchlessはMatchless, LLCの登録商標です。



Yamaha Guitar Group, Inc.  
26580 Agoura Road  
Calabasas, CA 91302 USA